

2024年3月期 第2四半期 決算説明会 主な質疑応答

日時:2023年11月8日(水) 17時~18時

Q:上方修正をした要因は、上期の上振れ分によるものか、下期についての見通しを変えているのか。

A:上期の上振れ分を通期計画に反映した。下期については期初計画を変えていない。

Q:時計事業の1Qと2Qを比べて、売上高が上がり、営業利益が下がった要因は。

A:主に時計事業の政策費(広告宣伝費)を戦略的に増やしており、利益は下がっている。政策費(広告宣伝費)を今後どの程度使うかは状況を見て対応していく。

Q:時計事業の中国は底打ちが見られているということだが、今後は急激に回復する見方か、または緩やかに回復する見方か。

A:中国の経済状況を楽観視しているわけではないため、徐々に回復していくと期待をしている。今後は単価の高いプレミアムラインへ注力していくこと、プロモーションに関しても今後はもっとユーザーに直接触れられるような取り組みを継続して行っていく。またリアルでのプロモーションにも投資をし、盛り上げていきたい。

Q:据え置いた下期の時計事業の計画は売上高がしっかり回復することで利益率も14%程度まで回復する計画だと思うが、売り上げがこの1年程度は厳しい状況だった。下期に売り上げを拡大できる理由を教えてください。

A:約3年ぶりのリアルのプロモーションを仕掛けており、それをグローバルで展開することによって、全体として達成できると見込んでいる。

Q:中国は緩やかに回復する見方とのことだが、これは出荷が上向いてくるということか、最終需要が上向いてくることのどちらか。

A:中国は在庫の適正化が進んでいる。セルインもそうだが、セルスルーもプロモーションを絡めて伸びていくと考えている。

Q:下期の政策費(広告宣伝費)の計画をどう考えているか。

A:現段階では期初計画通りで考えている。ただし変化には柔軟に対処していく。